

2016/08/14 の定期メンテナンスにおける kintone API、User API更新情報

2016年8月14日の定期メンテナンスの、kintone API、User APIの更新に関する情報をお知らせします。

お知らせの内容に追加、変更等ありましたら、こちらのコメントにて変更箇所を追記します。

また、APIドキュメントには仕様を順次公開していきます。

kintone REST API

追加される機能

- [スペース内のスレッドへのコメント投稿](#)

スペースIDとスレッドIDを指定してスレッドにコメントを追加できます。

修正される不具合

- [レコードコメントの一括取得API](#)で投稿日時が日時の共通フォーマットと異なる不具合
修正前の例：2016-08-14T00:38:53.000Z
修正後の例：2016-08-14T00:38:53Z
- [レコードの更新API](#)で複数の添付ファイルを登録する際に、リクエストボディでJSON形式で指定した順番でなく不規則に登録される不具合
- [追加]レコードの一括取得APIで、クエリー文字にユーザー選択フィールドの条件にPRIMARY_ORGANIZATION()のみを指定すると優先する組織ユーザーが取得できない不具合
- [レコードのステータス一括更新API](#)で「次のユーザーから作業員を選択」になっているかつ選択可能なユーザーが存在する指定条件にもかかわらず、records[].assigneeを指定しない場合に、不正な作業員が設定される不具合
- [アプリ情報の取得API](#)で作成者・更新者がkintone停止/削除/非利用ユーザーのときに情報が取得できる不具合
修正後：空文字列が返ります。

修正されるメッセージ

- 次の実行時に、メッセージは異なるが、エラーコードが[OC_NO02]と重複している
 - スペースをテンプレートから作成する際に、存在しないスペーステンプレートIDで実行する
修正後：「OC_NO10」に修正されます。
 - アプリの新規作成を存在しないスレッドのIDで実行する
修正なし：現状の「OC_NO02」です。
- **[追加]クエリー文字列に配列型パラメータを指定できるAPIで、その要素数が上限を超えている**
修正前：不正なリクエストです。
修正後：パラメータの数が上限を超えています。
- **[追加]クエリー文字列に配列型パラメータを指定できるAPIで、添え字が0からの連番でないときのメッセージが不適切なことがある**
修正前：不正なリクエストです。
修正後：nullまたは空の文字列が含まれています。
- **[追加]JavaScript / CSSカスタマイズ設定の変更APIで、desktop.css[].type、desktop.js[].type、mobile.js[].type の"type" を指定しないとエラーになる**
修正前：不正なJSON文字列です。
修正後：JS/CSSの種類指定がない。

kintone JavaScript API

追加・拡張される機能

- **レコード追加/編集画面の保存成功後イベント**
レコードの追加/編集、レコード一覧画面のインライン編集の保存が成功した時に、実行されるプログラムを記述できます。
※PCビューのみの対応です。
 - [レコード一覧画面のインライン編集保存成功後](#)
 - [レコード追加画面の保存成功後](#)
 - [レコード編集画面の保存成功後](#)
- **[印刷画面の表示イベント](#)**
レコード表示画面で印刷ボタンを押され、印刷画面が表示された時に、app.record.print.showイベントが実行できます。
※PCビューのみの対応です。
- **JavaScriptファイルの読み込みサイズの拡張**
修正前：512KB以下
修正後：5MB以下

修正される不具合

- **[追加]レコード追加/編集/一覧のインライン編集の保存実行前イベントで発生したエラーを確認できない不具合**
console.log にエラーメッセージが出力されませんでした。修正後は出力されるようになります。
- **[追加]レコード一覧のフィールド要素を取得するAPI (kintone.app.getFieldElements) で、特定の条件下でフィールド要素以外の要素が戻り値に含まれる不具合**

User API

変更される機能

- **認証方式の変更**
変更前：セッション認証、パスワード認証の順になります。
変更後：パスワード認証、セッション認証の順になります。

修正されるエラーコード

- **認証方式の変更より、次のエラーコードが修正されます。**
修正前：
 CB_AU01：すべての認証に失敗し、ログインできないとき
修正後：判定により3つのエラーコードに分かれます。
 CB_WA01：パスワード認証のX-Cybozu-Authorization ヘッダの設定が不適切なとき
 CB_JH01：セッション認証のX-Requested-Withヘッダがないとき
 CB_AU01：いずれの認証のヘッダも設定されていないか、セッション認証に失敗してログインできないとき